

**NSG**  
**GROUP**

# NSG グループ

## 2014年3月期第2四半期決算報告

(2013年4月1日～ 9月30日)

日本板硝子株式会社  
2013年11月7日

吉川 恵治

代表執行役社長兼CEO

クレメンス・ミラー

代表執行役副社長兼COO

マーク・ライオンズ

代表執行役副社長兼CFO

諸岡 賢一

執行役副社長

# 2014年3月期第2四半期決算報告

(2013年4月1日～2013年9月30日)



## アジェンダ

要点

決算概要

事業状況

まとめ

## 要点：2013年4月-9月



- 上期業績は当初見通しどおり
- コスト削減を反映し前年比で利益改善
- 市場状況は概ね安定
- リストラ施策は計画通り進捗、追加施策を発表

# 2014年3月期第2四半期決算報告

(2013年4月1日～2013年9月30日)



## アジェンダ

要点

決算概要

事業状況

まとめ

# 連結損益計算書



(億円)	14年3月期 4月-9月期	13年3月期 4月-9月期	前年比
売上高	3,022	2,607	16%**
無形資産償却と個別開示項目前営業利益 償却費*	92 (43)	23 (33)	
個別開示項目前営業利益(損失)	49	(10)	
個別開示項目	(60)	(101)	
営業損失	(11)	(111)	
金融費用(純額)	(94)	(78)	
持分法による投資利益	4	2	
税引前損失	(101)	(187)	
当期損失	(105)	(173)	
親会社の所有者に帰属する当期損失	(111)	(177)	
<b>EBITDA</b>	<b>252</b>	<b>164</b>	<b>54%</b>

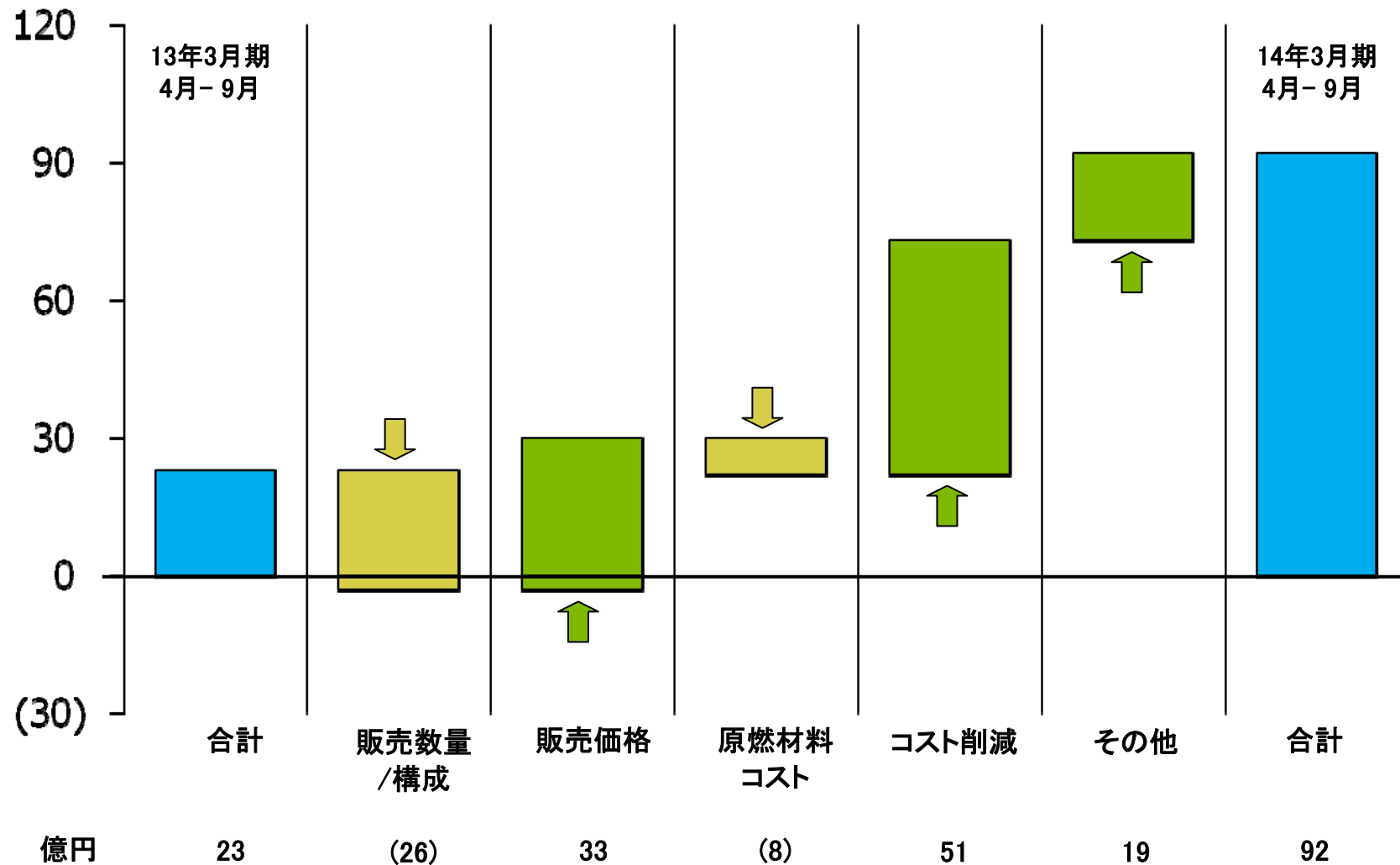
\*ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

\*\*為替変動を除くと-1%

市場状況は概ね安定

# 個別開示項目前営業利益差異分析

(無形資産償却前)



コスト削減を反映し前年比で利益改善



# 連結キャッシュフロー



(億円)	14年3月期 4月-9月期	13年3月期 4月-9月期
当期損失	(105)	(173)
減価償却費	206	175
運転資本の増減	15	24
法人所得税支払額	(13)	(32)
その他	(85)	(20)
営業活動によるキャッシュフロー	18	(26)
固定資産の取得	(92)	(157)
その他	42	8
投資活動によるキャッシュフロー	(50)	(149)
フリーキャッシュフロー	(32)	(175)

## キャッシュフロー改善

## 主要財務指標(KPI)



	<u>2013年9月末</u>	<u>2013年3月末</u>
ネット借入(億円)	3,752	3,608
ネット借入/EBITDA	8.1x	9.6x
ネット借入/純資産比率	2.3	2.3
	<u>2014年3月期 第2四半期</u>	<u>2013年3月期 第2四半期</u>
EBITDA/インタレスト・カバレッジ	3.3x	2.7x
営業利益率*	3.0%	0.9%

\*無形資産償却と個別開示項目前営業利益

## 2014年3月期通期業績見直し修正



(億円)	2014年3月期 当初見直し	2014年3月期 修正見直し	変動分
売上高	6,000	6,000	-
無形資産償却と個別開示項目前営業利益	220	220	-
償却費*	(80)	(80)	-
個別開示項目前営業利益	140	140	-
個別開示項目	(110)	(140)	(30)
営業利益	30	0	(30)
金融費用(純額)	(200)	(200)	-
持分法による投資利益	20	20	-
税引前損失	(150)	(180)	(30)
法人所得税	(50)	(20)	30
当期損失	(200)	(200)	-
親会社の所有者に帰属する当期損失	(210)	(210)	-

\*ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

無形資産償却前個別開示項目前営業利益は変更なし

## 2014年3月期通期業績見直し修正



- 無形資産償却前個別開示項目前営業利益は当初業績見直しどおり
- 以下2つの要因が相殺し合い、最終損益は変更なし
  1. 個別開示項目費用が30億円増加
    - 英国コーリーヒルの建築用フロートライン休止を本日発表。それによる増益効果は2015年3月期から年間30億円
  2. 税金費用30億円減少
    - 英国における法人税率の改定により、英国の繰延税金負債が減少

## リファイナンス進捗



既存借入のリファイナンスについて、以下のとおり進捗:

- 日本において、シンジケートローン総額155億円締結
- 英国で、シンジケートローン 総額168億円(約1億3千万ユーロ)締結
- 更に個別借入契約により51億円の資金を確保

以上のリファイナンス完了により本年度満期を迎える長期借入の借り換えは全て終了

# 2014年3月期第2四半期決算報告

(2013年4月1日～2013年9月30日)



## アジェンダ

要点

決算概要

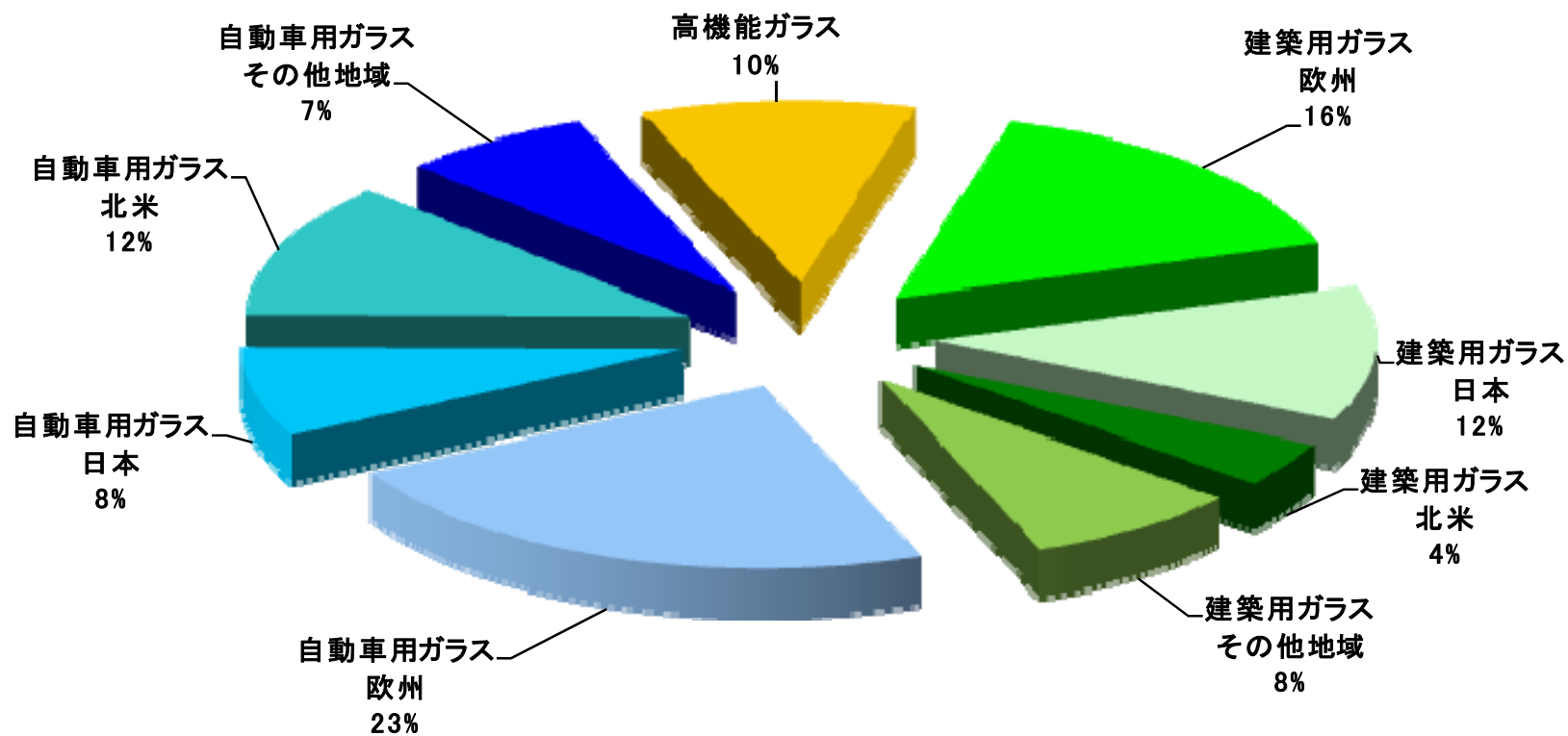
事業状況

まとめ

# 事業別売上高



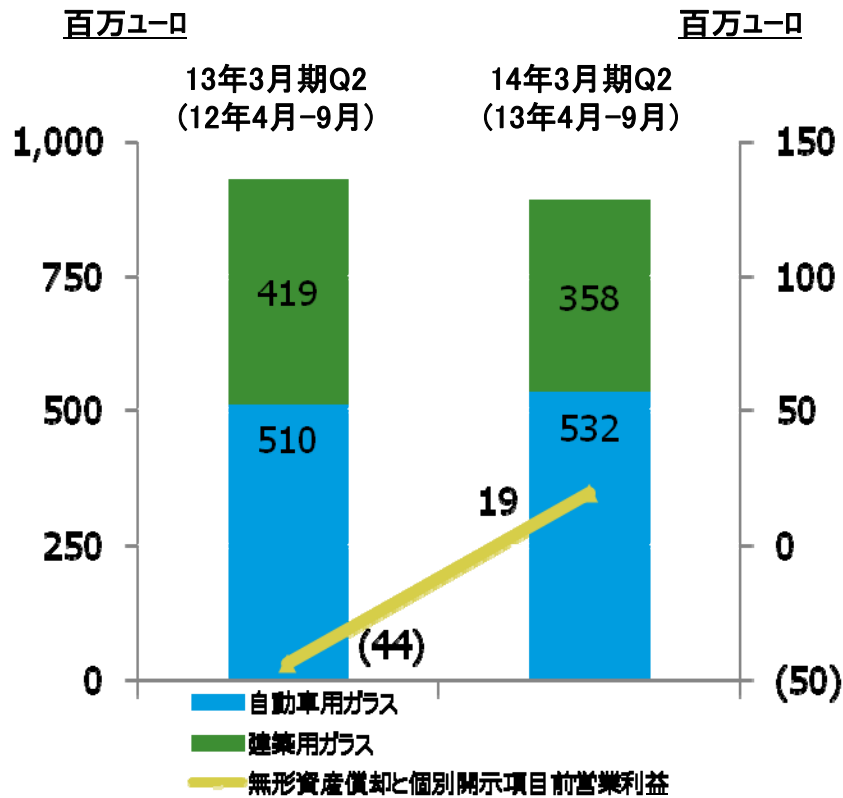
3,022億円



2014年3月期  
(4月-9月)

# 欧州

## 2013年3月期第2四半期との比較



### 建築用ガラス事業

- 数量は前年比10%減少
- コスト削減により黒字化

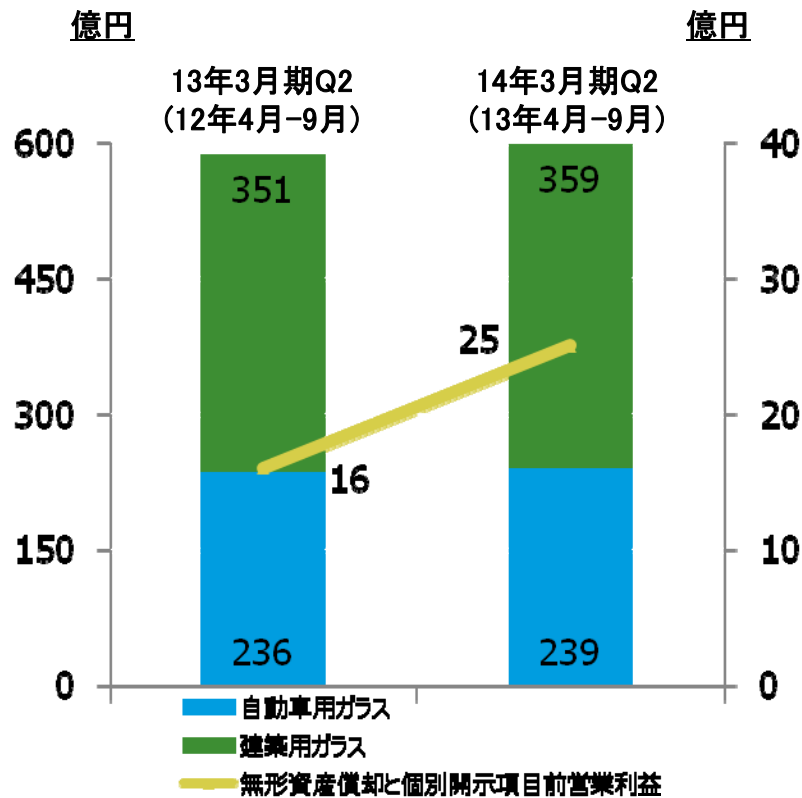
### 自動車用ガラス事業

- 新車(OE)用ガラスの需要は歴史的  
低水準だが、安定的に推移
- 補修(AGR)用ガラスの需要は増加
- リストラ施策により利益改善



# 日本

## 2013年3月期第2四半期との比較



### 建築用ガラス事業

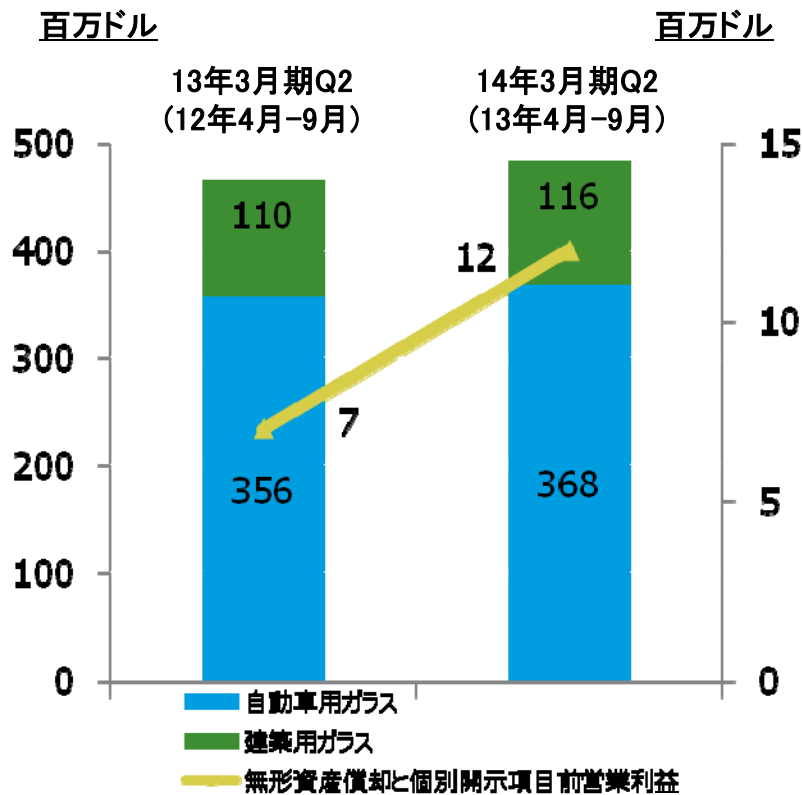
- マーケット先行指数は改善
- 数量と価格は前年並み

### 自動車用ガラス事業

- 円安が完成車輸出を後押し
- コスト削減と数量増加により増益

# 北米

## 2013年3月期第2四半期との比較



### 建築用ガラス事業

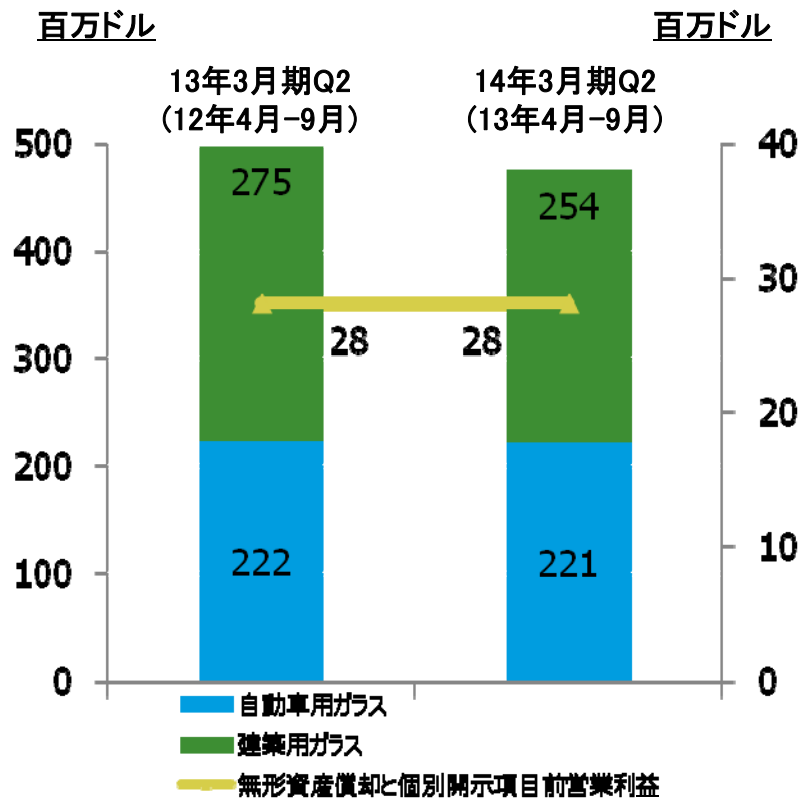
- ソーラー用ガラスの需要減は国内需要増加により相殺
- 価格水準は前年度を上回る

### 自動車用ガラス事業

- 新車(OE)用ガラス市場は引き続き改善
- 補修(AGR)用ガラスの業績は前年並み

# その他地域

## 2013年3月期第2四半期との比較



### 建築用ガラス事業

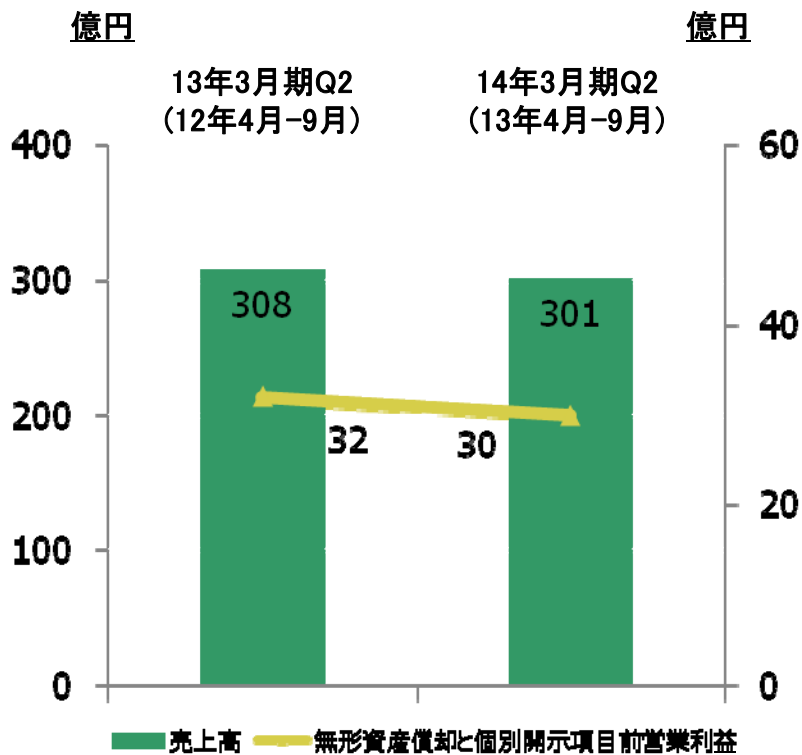
- 南米および東南アジアの市場状況は改善
- 現地通貨ベースでは増収増益

### 自動車用ガラス事業

- 乗用車の需要は増加
- 現地通貨ベースでは増収増益

# 高機能ガラス事業

## 2013年3月期第2四半期との比較



### 高機能ガラス事業

- 数量減が円安効果によって相殺され、売上高は横ばい
- スマートフォンおよびタブレットデバイス向け超薄板ガラスは数量増だが、その他製品向けが減少
- オフィス向けプリンター用レンズとグラスコードは市場状況改善

## 持分法適用会社



億円	<u>14年3月期</u> <u>4月-9月期</u>	<u>13年3月期</u> <u>4月-9月期</u>
持分法による投資利益	4	2

- セブラセは需要増により利益改善
- コロンビアでの立ち上げ費用により一部利益を相殺

# 2014年3月期第2四半期決算報告 (2013年4月1日～2013年9月30日)



## アジェンダ

要点

決算概要

事業状況

まとめ

## まとめ



- 上期業績は当初見通しどおり
- コスト削減を反映し前年比で利益改善
- 市場状況は概ね安定
- リストラ施策は計画通り進捗、追加施策を発表
- 2014年3月期満期分の借り換えは終了
- 2014年3月期通期業績見通しを修正。最終損益は変更なし

## ご注意



当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場（欧州、日本、北米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社





補足資料

## 事業部門別・地域別売上高 (2013年4月1日～2013年9月30日)



(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計
建築用ガラス	359	468	116	252	1,195
自動車用ガラス	239	696	366	220	1,521
高機能ガラス	154	39	6	102	301
その他	4	1	0	0	5
合計	756	1,204	488	574	3,022

## 償却前 営業利益\*

(2013年4月1日～2013年9月30日)



(億円)	建築用ガラス	自動車用ガラス	高機能ガラス	その他	合計
営業利益*	44	46	30	(28)	92

(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計
営業利益*	26	21	11	34	92

\*: 無形資産償却と個別開示項目前営業利益

# 2014年3月期通期業績見直し修正



(億円)	2014年3月期 上期実績	2014年3月期 下期見直し	2014年3月期 修正見直し
売上高	3,022	2,978	6,000
無形資産償却と個別開示項目前営業利益	92	128	220
償却費*	(43)	(37)	(80)
個別開示項目前営業利益	49	91	140
個別開示項目	(60)	(80)	(140)
営業利益(損失)	(11)	11	0
金融費用(純額)	(94)	(106)	(200)
持分法による投資利益	4	16	20
税引前損失	(101)	(79)	(180)
当期損失	(105)	(95)	(200)
親会社の所有者に帰属する当期損失	(111)	(99)	(210)

\*ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

## 為替レート



	2013年3月期 4月- 9月	2014年3月期 4月- 9月	2014年3月期 前提
期中平均為替レート:			
円/英ポンド	126	153	150
円/ユーロ	101	131	130
円/米ドル	80	99	100
期末為替レート:			
円/英ポンド	126	158	
円/ユーロ	100	132	
円/米ドル	78	98	

**NSG**  
**GROUP**